

# 月刊 発達教育

購読受付中



## 読者の声

- 発達障害の知識がほとんどなかったのですが具体的な情報満載で大変学びになりました。
- 毎号、とても参考になる記事が多く、送られてくるとすぐに手に取り、夢中で読んでいます。「私の子育て日記」は親御さんのご苦労や子どもの成長を支える周りの方々の様子がよく伝わってくる記事だと思います。
- タイムリーに参考となる情報が頂けるので、自分の臨床にとっても助かっています。
- 毎号大変勉強になり、視点を与えていただいています。
- 毎号さまざまな特集が組まれることを楽しみにしております。これからも、発達支援の最新の知見を得ることができる記事を期待しております。
- いつも読ませてもらって、参考にしています。支援者として子ども理解と支援内容に関わるものに特に関心を持って読んでいます。いろいろな内容が扱われているところも、とてもありがたいです。

親の気持ち
ー理解し、支えるために
中川信子(子どもの発達支援を考えるSTの会)

本人・保護者・支援者の
「どうして？」を深掘り!
日戸由刈(相模女子大学)

NEW 発達障害・境界知能の
子の自立を支える
ライフスキル
梅永雄二(早稲田大学)

NEW 発達障害のある子どもと
不登校
ー子どもを支えるために
大人ができることー
原田直樹(福岡県立大学)

NEW 多様な子どもたちのこと
ば・コミュニケーションの
指導
宮本昌子(筑波大学)

ユンタにまつわる
あれこれのこと
たちばなかおる(漫画家・エッセイスト)

NEW 子どもと一緒に感覚統合
山西葉子(東京都立大学)

NEW 発達性ディスレクシア
(発達性読み書き障害)を
理解する
後藤多可志(目白大学)

暮らしの力
発達協会職員

成人期の暮らし
障害のある人の
グループホームでの生活
荒井隆一(社会福祉法人 ロザリオの聖母会、日本グループホーム学会)

あなたの子育て相談室
私の子育て日記
など

親の気持ちー理解し、支えるために

療育に通っている三歳の子。
将来どうなるのか不安です

中川信子 ◆ 子どもの発達支援を考えるSTの会
言語聴覚士

三歳五カ月の男の子の親です。ことばが遅くて、一歳六カ月健診の時に保健師さんに「遊びのグループ」を紹介されましたが、「ことばが遅いのになぜ遊ぶの？」と納得できずことば遅かったです。

二歳半前に保健師さんから電話をもらい「まだことばが出ません」と言うのと、「ことばの専門家に相談できますよ」と、保健センターの「ことばの相談」を紹介してくれました。言語の先生は、息子のよすを見たり一緒に遊んだりしたあと、「これから伸びて行く可能性も大いにあるようですが、お家だけにいるより、いろんな経験のできる療育に通った方がお母さんもお子さんとも楽しいと思いますよ」と言ってくれました。

よ」と言ってくれました。それを信じてすぐに療育に通おうと決めました。療育に通うために必要な受給者証をもらうために、医師の診察を受け「障害がある」という診断書を得たところまでがつかったのですが、何とか割り切って、週二日の療育に通い始めて八ヶ月ほど。ことばは少し出てきたかな、という程度ですが、先生方がやさしくて、子どもも楽しそうです。親の私も同じ悩みを打ち明けられるママ友ができ、気が軽くなり、子育ての苦労が減りました。

でも、近所のお子さんたちは会話もできますし、ママの間では来春の幼稚園選びが話題になったりと、「ふつうの育ち」のお子さんとの差を感じて落ち込むこともあります。

この先、どんな気持ちで子育てに向き合っていくらいいでしょうか。

「比べないで」と言われても、の親心。未知のことば心配なのがあたりまえ

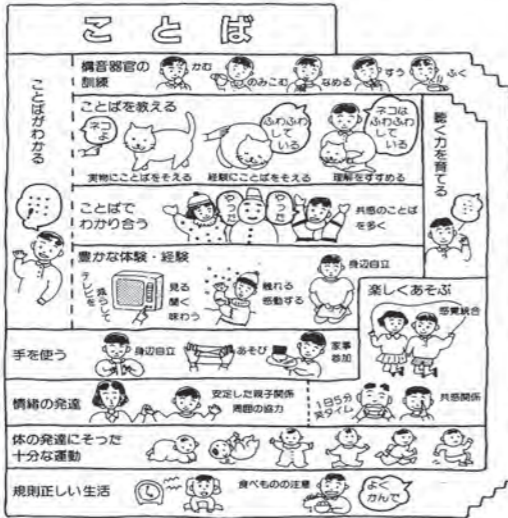
私の息子はもう四〇歳を越えました。二人とも未熟児で生まれました。私は仕事上、「他の子と比べずに目の前のこの子を見る」と、頭ではよく分かっていたのですが、健診などで同年齢の満期産のお子さんたちと一緒にいると、やっぱり比べずにはいらなかったもので

食べさせて着せて寝かせて大きくする。親の務めはただこれにつきる

お子さんが二歳、三歳の時に「相談」の場は何回かお会いした保護者のAさんとウン十年ぶりにやり取りするチャンスがありました。お子さんは正社員として就職後一五年を越え、職場で不可欠の人として元気に働いているそうでした。

Aさんは昔、まさに今回の質問者の方と同じように、「この先どうなるんだろう」「親として何をしたらいいんだろう」と悩んだりしていましたが、その時私に「子どもは食べさせて、着せて寝かせていれば、親としての務めは果たしていることになるんですよ」と言われて、すっかりラクになったのだそうでした。

言った私は忘れていたのに、言われたAさんは「よく覚えてます」とのこと。



出典:『ことばをはくむ(新装版)』中川信子 ぶどう社 2024年2月

発達教育
試し読み

2026 特集予定

- 発達障害のある子の感情調整の課題への支援
- 子どもと「読み聞かせ」を楽しむために
- 腸内細菌と発達障害
- 発達障害のある子と歩む学童保育
- 発達につまずきがある子・人と非認知スキル
- 5歳児健診
- 日常生活発達行動支援法(NDBIs)

連載予定

- ことば・コミュニケーションの発達を促す教材
- 算数のつまずき・困難と支援の実際
- 認知発達・認知特性に合わせた支援ー太田ステージを通してー
- 成人期の暮らし:
発達障害・知的障害のある人の月経との付き合い方と支援
知的障害・発達障害のある人の高齢期

子どもが平等に参加し育ちあうインクルーシブ保育
インクルーシブ保育とは、障害のある子どもと障害のない子どもが一緒に生活し、学びあう保育のことです。...

自立を支える暮らしの力
注
山口智恵子

注
山口智恵子

あなたのお子さんのSST
Q1 Q2 Q3 Q4

※テーマやタイトルは変更になる可能性があります。

# 2026年度 月刊 発達教育 年間購読のご案内



発達につまずきのある子どもに関わる学校や園の先生、さまざまなセラピストや保健師、子育て中のお母さん、お父さんから支持をいただいている月刊誌です。

**好評連載中!**

2025年度からの継続連載

- 親の気持ち—理解し、支えるために 中川信子(子どもの発達支援を考えるSTの会)
- 本人・保護者・支援者の「どうして?」を深掘り! 日戸由刈(相模女子大学)
- ユンタにまつわるあれこれのこと たちばなかおる
- 成人期の暮らし
- あなたの子育て相談室
- 暮らしの力
- 私の子育て日記など

※テーマ・タイトルは変更することがあります

月刊 発達教育 B5版・44ページ  
年間購読料 4,884円 (送料・税込)

こちらからも  
お申し込みできます



購読ご希望の方は申込書に必要事項をご記入の上、郵送かFAXでお申し込みください。※書店では販売しておりません。

## 購読申込書

ふりがな				
氏名	E-mail			
	TEL		FAX	
ふりがな				職業
住所	〒			
お申込み年度 (ご希望の年度に○をつけてください)				
<input type="radio"/>	2026年度年間購読 (2026年4月号～2027年3月号以降自動継続) 4,884円 (送料・税込)			
<input type="radio"/>	2025年度 (2025年4月号～2026年3月号までお届けします) 4,884円 (送料・税込)			

※本申込書に記載した個人情報が当協会の啓発事業 (公開研修会等) の案内に利用されることに同意の上、申し込みます。

公益社団法人 発達協会 ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp/>

☎ 115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL 03-3903-3800 FAX 03-3903-3836